



10月24日(日)に、明野町民俗芸能保存会による、第1回伝統芸能研修会「明野のお神楽」が開催され、かやぶんも事務局としてお手伝いさせていただきました。今回はその様子をレポートします。(内海)



北杜市明野町には、現在もお神楽を継承している神社が6社(神楽保存団体)あり、その中には、多くの伝統芸能と同じく「後継者問題」を抱える団体もあります。そこで、6団体全てが参加して「明野町民俗芸能保存会」(会長:伊勢神社神楽保存会 清水坦)を平成22年春に設立し、芸能の技を磨き、後継者を発掘・育成するために、年に一度、研修会を開催することになりました。今回がその第1回でした。

「明野のお神楽」では、神社の例大祭で一日かけて奉納される舞の多くを、各団体が担当しました。神楽が奉納される春季例大祭は、毎年4月の第1・第2日曜日に集中的に行われるため、他の神社の神楽を観ることは、保存団体の人と言えど滅多にありません。このような貴重な機会を保存会の中だけで終わらせるのではなく、広く市民の皆さんにも観ていただきたいと考え、公開の形で催しました。

ステージ上には立派な祭壇を設けました。非公開でしたが、開催に先立ち、須玉町江草の十五所神社の篠原宮司にお越しいただき神事を執り行いました。その後、「斎場清めの舞」に始まり、午前に6演目、午後に7演目が披露されました。午後の部はじめには、女子による「浦安の舞」と、かやぶん主催の「こども神楽教室」の子ども達による「玉取りの舞」も披露され、かわいい子ども達の舞に、来場者の皆さんからは惜しみない拍手をいただきました。

同じ明野町内のお神楽ですが、保存団体によって、舞の所作の細部や楽(篠笛と太鼓による演奏)に違いがあり、保存会の皆さんはとても真剣にご覧になっていました。

開演前は、一般のお客さんは少ないかな、と思っていたのですが、町内外から老若男女、様々な層のお客さんが約200名もご来場くださいました。小さなお子さんを連れてお客さんも多く、子ども達が、初めて観るであろうお神楽に心奪われ、例えば「猿田彦命の舞」の天狗面をつけた舞手の真似を一心にしている男の子の姿が印象的でした。

神社の例大祭で神様に奉納される舞、と聞くと、お神楽は随分敷居が高く感じられてしまいます。事実、神聖な舞であることに違いはありませんが、ひと昔前、他にあまり娯楽が無かった時代には、氏子さん達の年に一度の楽しみだったといえます。お神楽を、もっと近くに感じ、親しみを持っていただけると、保存に関わる者としては大変嬉しいです。そしてきっと、そういうところから、未来の舞手は生まれるでしょうし、明野町のお神楽全体の発展に繋がると思います。

明野町民俗芸能保存会では、来年度以降もこのような研修会を開催していく予定です。お神楽をはじめとした、地域の伝統芸能にぜひ触れてみてください。



(伊勢神社神楽保存会) 楽の様子



(宇波神社神楽保存会) 斎場清めの舞



(飛尾新田神楽保存会) 仁の舞



(三嶋神社神楽保存会) 国堅めの舞



(宇波神社神楽保存会) 猿田彦命の舞



(三嶋神社神楽保存会) 二人剣の舞



(伊勢神社神楽保存会) 保食神の舞



(白山神社) 浦安の舞



(子ども神楽教室) 玉取りの舞



(浅尾新田神楽保存会) 四弓の舞



(各保存団体) 天岩戸



(飛尾神楽保存会) 乙の舞

## かやぶんからのお知らせ

### ●NPO臨時総会が開かれました

10月9日(日)に、当NPO法人の臨時総会が開催されました(議長:清水忠文理事、出席者:12名、委任状提出者:15名)。今年度で北杜市埋蔵文化財センター・明野歴史民俗資料館の、北杜市教育委員会との指定管理の協定期間が終了することを受け、平成23年度以降の法人運営のあり方について、活発な議論が交わされました。

臨時総会の中では、経営士であり、また山梨県ボランティア協会にてNPO研修アドバイザーをされている永田八洲さんにお越しいただき、「NPOマネジメントの知識」というタイトルでご講演いただきました。永田さんは、ご自身も指定管理者をしているNPO法人の理事長をされていて、そのご経験も交えてのお話は、ここ7年度間、指定管理を中心とした事業運営をしてきた当法人の会員の皆さん及び事務局には、目から鱗の話ばかりで、今後の活動に対してとても刺激を受けました。

臨時総会の結論は、NPO法人は存続、来年度以降の事業展開について、会員の中で検討委員会を立ち上げ議論を重ね、今年度中には再度臨時総会を開催する、ということになりました。

会員の皆さんのお力が必要な時です。ぜひご協力ください。

### こども神楽教室が始まりました

今月から、「こども神楽教室」が始まりました。「こども神楽教室」は今年で8年目になります。「こども神楽教室」の対象は小学3年生から中学3年生ですが、小学生から始めた子が中学卒業をもって教室を卒業し、その後地域の神楽保存会に入るなど、かやぶんとしてはとても嬉しいことがあり、長く続けてきて良かったとつくづく思います。

最初の2回では楽の練習をします。お神楽の基本的な楽「竹林」を演奏できるようになるのが今年の目標です。その後、12月からはいよいよ舞の練習が始まります。次回のご報告もお楽しみに！



### 明野歴史民俗資料館第15回企画展

## 装いの民俗

期間：平成22年11月1日(月)～

平成23年2月28日(月)

土日祝日及び、12月28日から1月4日までは休館です。

時間：午前9時30分～午後5時

(ただし、入館は午後4時30分まで)

入館料：無料



今回の企画展では、昭和はじめごろまでの「装いの民俗」についてご紹介しています。ぜひ、お越しください。

### ＝ご寄付＝

永田 八洲様 誠にありがとうございました。

### ＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

### こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金：1000円 年会費：1000円

### ＝編集後記＝

山々の木々が次第に色づく季節となりました。皆様はどんな「秋」をお過ごしですか？かやぶんの秋は芸能の秋。総合会館で行われた伝統芸能研修会「明野のお神楽」では、町内の保存会の皆さん、そして子ども達が素晴らしい舞を見せてくれました。

明野歴史民俗資料館では、第15回企画展「装いの民俗」が11月1日から始まります！姉さんかぶりにカルサン、下駄に藁靴……ちょっと昔の日常の装いをご覧ください。たくさんの方のご来館をお待ちしております。

### かやぶんかわら版 第65号

平成22年10月29日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310  
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>

E-mailアドレス [info@kaya-net.jp](mailto:info@kaya-net.jp)